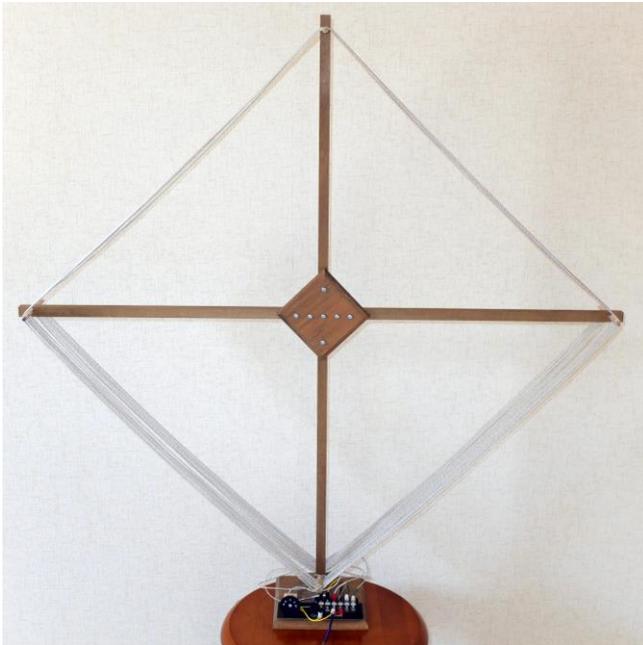


# 分解・組み立て可能な受信ループアンテナ (CCLoop)

2015. 9. 5  
JH1OHZ片倉由一

JG1CCL内田さんの高性能設計と綺麗な部材による格好良さとJG1UNE小暮さんの分解のアイデアをいただき、内田さんVerを分解・組み立てできるようにしてみました。性能は、抜群です。

分解・組み立てはできるといっても収納性(大きさ)と運搬性(緩衝適正)を備えた収納袋をどうするか、一考しなければなりません。

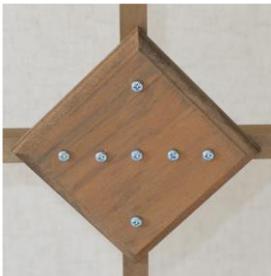


受信アンテナは一辺が61.5cmにリッツ線(0.08mm235本線)で18回(10+8回)巻。全長約44mで409  $\mu$  H (LCR40で測定周波数200KHzにて,抵抗0.7  $\Omega$ ) これに260PFポリバリコンを接続ピックアップコイルは1回巻

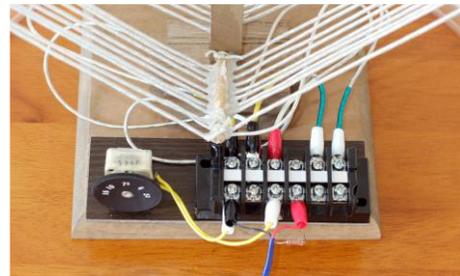
自宅(横須賀)はNHK第1、第2放送局から93Kmも離れていますが、室内で聴こえました。これには驚きです。室内ではNHK第1、第2の他に、距離25Kmのニッポン放送がガンガン入感。

ピックアップコイルの先に結合ループのリード線を付け、他のゲルマラジオでも聴けましたが、まさしくホットスポットで受信しているかの如くです。

## 分解構造



前板と支柱をM4ネジと蝶ナットでとめました。



端子台とポリバリコンを木目化粧板に取り付け、それを底板平板にマジックテープで固定。



底板平板、支柱固定木材との間に支柱をはさみ込み前板同様、M4ネジと蝶ナットでとめました。支柱固定木材は奥側と左・右だけを底板平板に固定し、手前板は底板平板とは固定せず支柱をはさみこむために使いました。